

みずほCustomer Desk Report 2022/11/02号 (As of 2022/11/01)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	148.78
TKY 9:00AM	148.73	0.9886	147.09	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	148.82	0.9954	147.10	1.1468	0.6410
SYD-NY Low	146.99	0.9854	145.97	1.1566	0.6464
NY 5:00 PM	148.23	0.9874	146.35	1.1437	0.6377
	148.23	0.9874	146.35	1.1485	0.6394
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,653.20	▲ 79.75	日本2年債	▲0.0500%	▲0.0100%
NASDAQ	10,890.85	▲ 97.30	日本10年債	0.2500%	0.0100%
S&P	3,856.10	▲ 15.88	米国2年債	4.5499%	0.0654%
日経平均	27,678.92	91.46	米国5年債	4.2696%	0.0404%
TOPIX	1,938.50	9.07	米国10年債	4.0471%	▲0.0018%
ソコ日経先物	27,595.00	40.00	独10年債	2.1230%	▲0.0250%
ロンドンFT	7,186.16	91.63	英10年債	3.4550%	▲0.0650%
DAX	13,338.74	85.00	豪10年債	3.7970%	0.0350%
ハンセン指数	15,455.27	768.25	USDJPY 1M Vol	12.77%	▲0.27%
上海総合	2,969.20	75.72	USDJPY 3M Vol	12.67%	▲0.05%
NY金	1,649.70	9.00	USDJPY 6M Vol	12.15%	▲0.18%
WTI	88.37	1.84	USDJPY 1M 25RR	▲0.66%	Yen Call Over
CRB指数	276.34	2.21	EURJPY 3M Vol	12.58%	▲0.17%
ドルインデックス	111.48	▲ 0.05	EURJPY 6M Vol	12.55%	▲0.18%

【昨日の指標等】

Date	Time	豪	米	米	米	Event	結果	予想
11月1日	12:30					RBAキャシュレート	1-Nov	2.85%
	23:00					建設支出(前月比)	9月	0.2%
	23:00					ISM製造業景況指数	10月	50.2
	23:00					JOLT求人	9月	10717K
								9750K

【本日の予定】

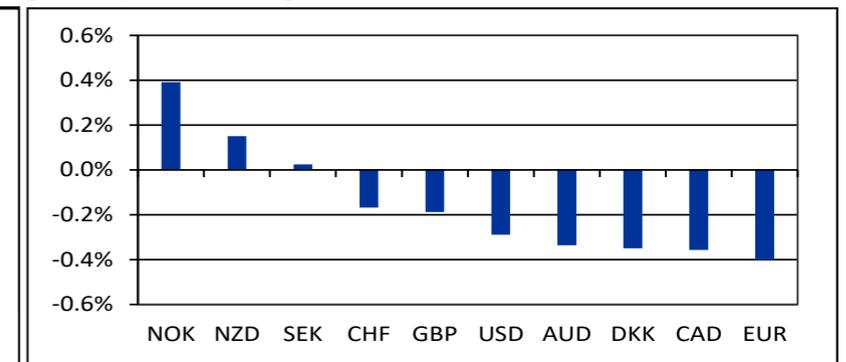
Date	Time	米	米	米	Event	予想	前回
11月2日	21:15				ADP雇用統計	10月	185k
11月3日	03:00				FOMC政策金利	2-Nov	3.75%-4.00%
	03:30				パウエルFRB議長 記者会見	-	-
							3.00%-3.25%

東京	東京時間のドル円は148.73レベルでオープン。仲値にかけてドル買いが進み、一時148.82まで上昇。ただ買いが一服し下落に転じると、その後しばらくは148円台前半での推移。終盤に元当局者による中国人民銀行の為替介入に関するヘッドラインが流れると、ドル売りが進み147.65まで下落後、小幅に値を戻すも勢いはなく、147.88レベルで海外時間に渡った。また本日RBAが政策金利の25bpの引き上げを発表したものの、市場予想通りの結果に反応は限定的だった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.88レベルでオープン。明日にFOMC政策金利の発表を控えて、米長期金利は調整的な動きとなり低下した。ドル円はそれに連れられる形で一本調子で下落。その後、147.00円近辺で売り圧力が和らぎ、やや値を戻し147.21レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では中国Caixin製造業PMIが予想を上回ったことや、中国がCOVIDゼロ政策をやめるとの報道(後に否定)にリスクオンからドル売りが強まり、ここ最近円同様大きく下落していたCNHが買われる展開に円買いも強まり、146.99まで下落し、147.21レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ146.99まで再び下落するが、米10月製造業PMI(確報値)147.54まで戻す。続いて発表された米10月ISM製造業景況指数がヘッドラインで予想を上回り、構成指数の支払価格が大きく低下し、新規受注と雇用指数が前回から改善したことや、9月JOLT求人予想を上回り、前回分も上方修正されたことから148.26まで戻す。その後バイデン大統領はFedのハ派転換を支持と伝わったことから147.74まで反落するが、今年の幼派転換を支持と訂正されたことから148.34まで戻す。終盤に掛けては明日のFOMC結果発表を控えた狭いレンジでの推移が続き、148.23レベルでクローズした。一方、海外市場でドル売りが強まり、0.9947まで戻したユーロドルは0.9935レベルでNYオープン。朝方は海外市場のドル売りが継続し0.9954まで上昇するが、製造業PMI、ISM製造業景況指数、JOLT求人結果を受けドルが買い戻される展開に0.9859まで反落する。その後前述のバイデン大統領に関するヘッドラインを受け一旦ドル売りが強まり0.9910まで上昇したが、すぐに訂正されたことから0.9854まで反落する。午後は明日のFOMC結果を控え0.9880付近での推移が続き、0.9874レベルでクローズした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.00-150.00	0.9800-0.9950	145.50-148.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル/円は往って来いの展開。アジア時間帯は本日夜のFOMCを控え、動意の薄い展開。欧州時間帯に入るとFOMC前のポジション調整か、米10年債利回りが低下して4.0%台から3.9%台まで低下すると、ドル/円も下落して148円台から一時147円を下抜けた。ただし、このレベルでは買戻しが入ると、米州時間帯に発表された米求人人数が市場予想を上回る結果となり、雇用の力強さが示されたことから米10年債利回りは4.0%台を回復。ドル/円も148円台を回復して148.20台で引けた。本日のドル/円は底堅い展開を予想。本日のFOMCで0.75%の利上げが予想される中、引き続き日米の金利差拡大観測をテーマとしたドル買い・円売りの流れは継続すると予想。しかし、150円が視野に入ると円買い介入も意識されることから、本日のドル/円も底堅いものの、上値は限定的となりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小野崎・西